

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.4.26 時点)

分類	保管場所	保管方法	上り境界空間線量率(mSv/h)	保管量	前回集約からの増減※1 (2019.3.29 - 2019.4.26)	変動理由※2	エリア占有率	保管量※3 / 保管容量(割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	4,100 m ³	+800 m ³	①②	78 %	196800 / 252700 (78%)	・フランジタンク解体片 2019年4月末時点でコンテナ937基保管。 エリアP1 コンテナ数：664基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：273基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	62,500 m ³	+200 m ³	①	99 %		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85 %		
		J	屋外集積	0.01	6,200 m ³	+800 m ³	③	78 %		
		N	屋外集積	0.01未満	9,600 m ³	0 m ³	—	96 %		
		O	屋外集積	0.01未満	42,500 m ³	-800 m ³	④	83 %		
		P1	屋外集積	0.01未満	50,900 m ³	+100 m ³	⑤	79 %		
		U	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—	100 %		
		V	屋外集積	0.01	4,800 m ³	0 m ³	—	80 %		
	AA	屋外集積	0.01未満	9,000 m ³	+400 m ³	①	25 %			
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58 %	38000 / 71000 (54%)	・エリアWでの車両解体（プレス等）完了。(2018年1月)
		E1	シート養生	0.02	14,100 m ³	0 m ³	—	88 %		
		P2	シート養生	0.01	5,600 m ³	0 m ³	—	62 %		
		W	シート養生	0.03	7,700 m ³	+100 m ³	①⑤	26 %		
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	X	シート養生	0.01	7,900 m ³	0 m ³	—	65 %	18200 / 31700 (57%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量（4,000m3）増加。 (2018年5月)
		L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000 m ³	0 m ³	—	100 %		
		A	仮設保管設備	0.14	1,000 m ³	0 m ³	—	14 %		
		E2	容器※4	0.01	400 m ³	0 m ³	—	24 %		
	固体廃棄物貯蔵庫	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99 %	15800 / 45600 (35%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量（33,600m3）増加。 (2018年2月)
		Q	容器	0.04	100 m ³	-300 m ³	⑥	2 %		
	合計（ガレキ）				268,800 m ³	+2,000 m ³	—	67 %		
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300 m ³	0 m ³	—	63 %	96800 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74 %		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600 m ³	0 m ³	—	88 %		
		V	屋外集積	0.01	100 m ³	0 m ³	—	2 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88 %	37300 / 41600 (90%)	
T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94 %				
合計（伐採木）				134,100 m ³	0 m ³	—	76 %			
保護衣	屋外集積	容器	0.04	55,100 m ³	-900 m ³	⑧	81 %	55100 / 68300 (81%)	・使用済保護衣等焼却量 5484t（2019年4月末累積） ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1333本（2019年4月末累積）	
合計（使用済保護衣等）				55,100 m ³	-900 m ³	—	81 %			

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②構内一般廃棄物 ③一時保管エリアOからの移動 ④一時保管エリアJへの移動 ⑤1～4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事
⑥固体庫9棟へ瓦礫の移動 ⑦一時保管エリアQからの移動 ⑧焼却運転

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

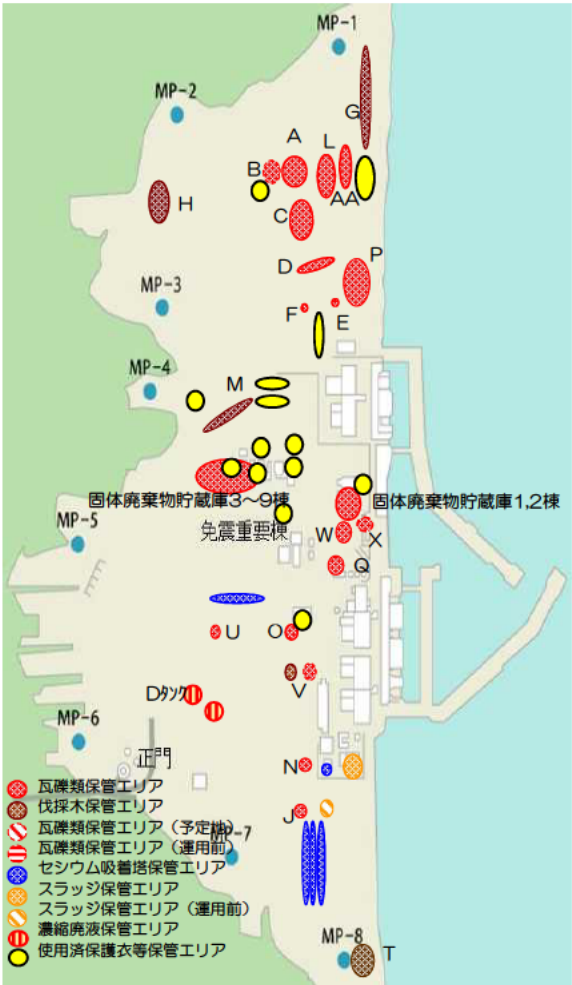
※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.5.2時点)

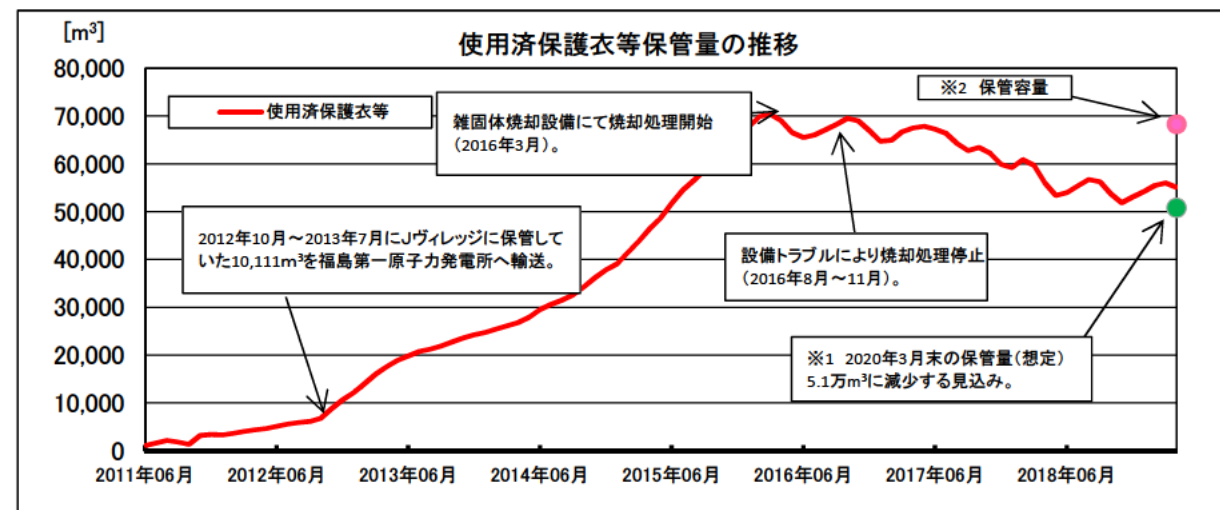
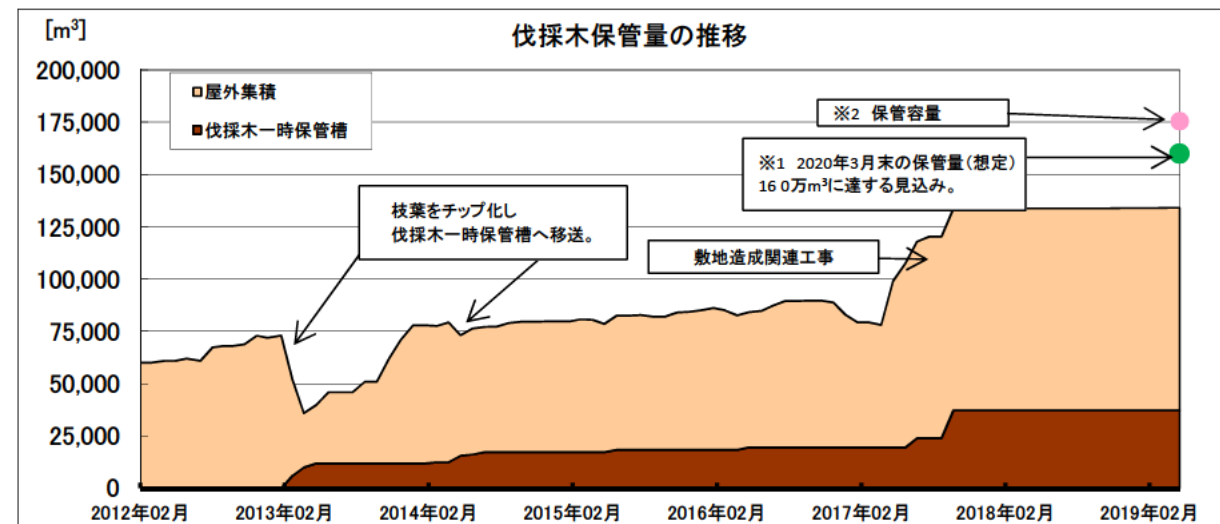
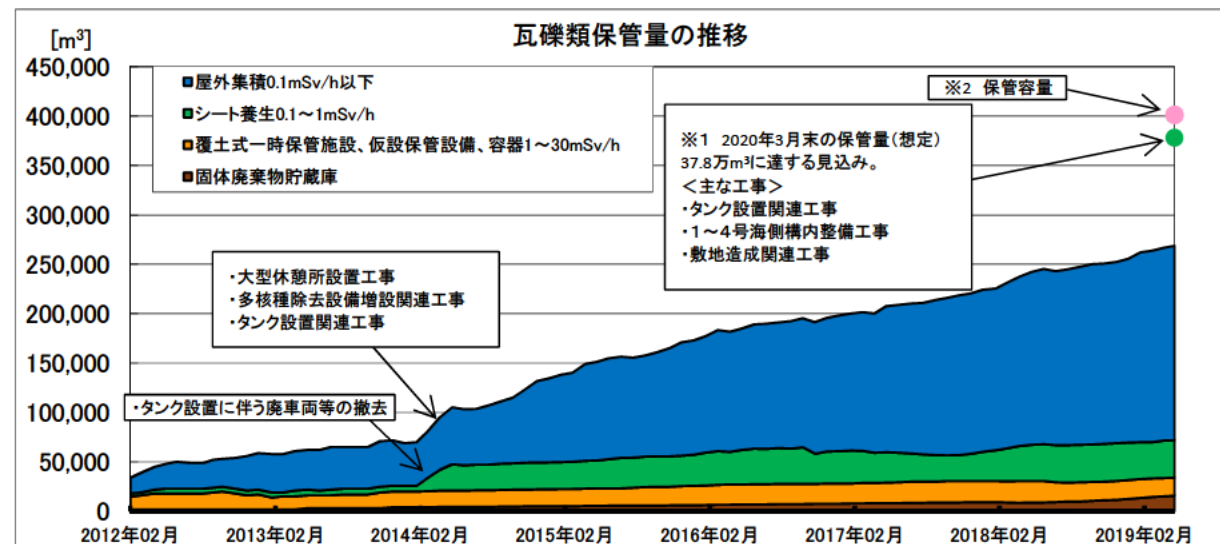
分類	保管場所	種類	保管量		前回集約からの増減※1 (2019.4.4 - 2019.5.2)		保管量／保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル		775	本	0	本	4362 / 6372 (68%)	・ 吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） ・ 使用前検査完了（2017年5月26日）に伴う保管容量増（第四施設架台129塔分）
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル		216	本	0	本		
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,617※1	基	+10	基		
			増設	1,463※2	基	+20	基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74	本	0	本		
		多核種除去設備処理カラム	既設	11	塔	0	塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		206	本	0	本		
	廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	597	m ³	0	m ³	597 / 700 (85%)	・ 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・ 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,352	m ³	+22	m ³	9352 / 10300 (91%)	・ タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場パトロール異常なし） ・ 水位計0%以上の保管量：9252 [㎡] タンク底部～水位計の保管量 (DS)：約100[㎡]	

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,617基 【誤】1,600基（2020.3.4）

※2：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,463基 【誤】1,480基（2020.3.4）



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.4.26 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.5.2時点)

